

地域の労働者と青年の結集をめざす

横三労連新聞 第135号



2017年12月11日発行

docomo

au/ソフトバンク

<http://www.yokosan.info/index.htm> e-mail: yv2t-tnk@asahi-net.or.jp

238-0006 横須賀市日の出町2-9 046-823-0210 (内線433)



2017.11.25 拡大幹事合宿@民宿「はら」

過去の組合活動の思い出 by 長嶋清四郎さん

秋田の大曲から親戚を頼って横須賀に出てきて、紆余曲折を経て、追浜の東邦化学に就職した。油や、化粧品
の原料をつくる会社だった。最初はマ
ージャンばかりしていたが、先輩に誘
われて組合に入り執行委員になり、そ
して若手の仲間と一緒に、やる気のない幹部と入れかわった。当時の労働条
件のまずさと言ったら大変なもので
あった。

職場には同盟傘下の組合もあり、苦
労もしたが、要求を掲げ、門前に旗を
立てるとか、リボン闘争、残業拒否、
ストライキなどの戦術で、毎年賃上げ
をかちとってきた。

私自身、カメノコも分からないのに
研究部門に配置転換されるなど、会社
側からの攻撃も多かった。それでもス
トの際には会社に泊まり込み、炊き出
し、ピケットラインなどで、“団結と
統一”がこんなに素晴らしいものであ
るか、目をみはるばかりであった。

拡大幹事合宿に9名参加！

恒例となった、三戸浜の民宿「は
ら」での拡大幹事合宿には、9名
が参加しました。この場所での合
宿は、ちょうど10回目です。最初
に、神奈川労連の山田書記長より、
「改正労働契約法18条による無
期契約化」の講義を受けました。
半年間のクーリング期間によっ
て、無期契約を避けるトンネル
がある事や、直前での雇止めが
ある事を知り、取り組みの必要
性を感じました。続いて山本裕
さんの「女性ジャーナリスト」の
講義を受け、これも恒例の綱領
「横須賀三浦地域労連がめざす道」
の読み合わせを行って、休憩に入りま

夕食の舟盛りは、ほら貝をメインに
伊勢海老が3尾も付く豪華さで、こ
のほら貝の大きさになるには80年
位かかると聞いてビックリ！ 2
次会では、山本泰さんの「今年の横
三の活動を振り返って」と伯山さん
の「ヨーロッパ巡り」の映像を楽し
みました。

翌日は、「原発汚染水等の海洋長
期保管場所と自治体財源創出」by
新倉さん、「業績評価制度」by 加藤
さん、「太陽系の仲間たち」by 事務
局長、「ナースのお仕事」by 藤枝書
記次長、「過去の組合時代の思い出」
by 長嶋さんの講義を受けました。

相次ぐ米イージス艦事故の背景にあるもの

今年は横須賀の米イージス艦4隻がたて続き、17名もの犠牲者が出てしまいま
した。フィッツジェラルドは今、アメリカに向けて航行中ですが、事故は、北朝鮮と
の軍事的緊張の中での激務が原因である事が、明らかになっていきました。

事故は、横須賀に9日間入港の後に起きていますが、この間も休暇にはならな
かったようです。そしてその前の実に110日間は、1日佐世保に入港した以外は、
北朝鮮のミサイルを警戒する緊張した勤務を強いられてきました。

米軍は、事故原因を分析した後、「改善には、イージス艦を増やすしかない」と
言っていますが、これは本末転倒の論議です。世界の圧倒的多数の国々が、戦争を
危惧する中、日米両政府だけが軍事的圧力を口にし、核兵器廃絶条約にも、ICAN
のノーベル平和賞受賞にも、背を向け続けている事にこそ、事故の原因があると思
うのは、私だけでしょうか？



2017.11.25 豪華盛り合わせ 赤貝・カキ・伊勢海老・カワハギ